



福岡市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ここと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）  
福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階  
TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428  
Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

# 楽しく学んで 今後の地域福祉活動のきっかけに！

～自分に合ったオーダーメイドのボランティア活動を探して～

シニア世代の方々が、コミュニケーションのツールとして「ハガキ絵」の作成について学び、ふれあいサロンやネットワークなどで活動していただくことを目的に、ボランティア養成講座を開催しました。

講座の中では、これからどのようなボランティア活動に取り組んでみたいかについて話し合い、「ふれあいサロンの見学に行きたい」「自宅周辺で見守り活動をする」「使用済切手の収集から始める」「個人ボランティアに登録する」など、自分に合ったボランティア活動を考えるきっかけ作りができました。



市原光穂講師からハガキ絵を学ぶ参加者



自分に合ったボランティア活動について考えています

### 【参加者の声】

- 地域のボランティア活動について学ぶことができました。
- 学んだことを「ふれあいサロン」や「ふれあいネットワーク」の訪問時に活用したいです。

### ※個人ボランティア登録とは…

福岡市社会福祉協議会のボランティアセンターには「個人ボランティア登録」の仕組みがあります。様々なボランティア活動をご紹介しますので、どのようなボランティア活動をするか決まっていな方や、活動の情報を知りたい方にお勧めしています。関心のある方は城南区社協事務所にご相談ください。社協事業・地域福祉活動を応援して下さるボランティアも募集しています。



講座で作成した作品



# コロナ禍の中でも、笑顔で集まることができました

## ～「ちいさくあつまる」を「つなげる」地域カフェ～

新型コロナウイルスの影響で、不特定多数の人が集まり交流する行事の開催が制限されていましたが、様々な工夫や感染対策を行い、「ちいさくあつまる」を「つなげる」取組みとして再開されてきています。

堤丘校区と長尾校区では、参加者の事前申込制を取り入れ、「地域カフェ」を実施しました。

### 堤丘校区 堤丘 いきいきスポット

堤丘校区社協では、コロナの影響で中止となっていた地域カフェを、令和3年12月4日に再開しました。

当日は28名が訪れ、「久しぶりに知り合いに会うことができ嬉しい」等の声が聞かれました。

「博多にわか」が行われ、博多弁でオチがつくたびに、参加者の笑顔が見られました。

石橋正照校区社協会長は、「コロナ禍の中、どうすれば楽しく参加いただけるか考えた。今後も工夫を重ねていきたい」と話されました。



しゃもじを叩いて盛り上げました!!

### 長尾校区 ふれあいカフェin長尾

長尾校区社協では、令和3年11月28日に、2回に分けてカフェを実施しました。参加者は40人(小学生7名含む)で、参加者からは「このような催しはコロナ禍の中で外出機会の少ない高齢者にはありがたい」といった声が寄せられました。

主催者の宮崎武司校区社協会長は、「久しぶりのカフェだったが、健康講座と笑いで素晴らしいひと時を過ごすことができた」とカフェの効果を実感され、令和4年2月にも2回目のカフェを実施する予定にしています。



城南区保健福祉センターの保健師による「健康講話」を聴く参加者

各地域で、コロナ禍の中で「はなれてもつながる」、「ちいさくあつまる」を「つなげる」取組みを進めるための工夫が生まれています。

城南区社協では、そのような取組みをこれからも支援していきます。

# 点訳を喜んでいただけることを励みに

## ～「点訳の会あい・あい」の活動紹介～

「点訳の会あい・あい」は、中学生向けの図書を中心に、点訳活動を行っています。

点字は点字盤という道具でも打つことができますが、現在はパソコンを使用し、「かな・ローマ字」で入力してから点字に変換しています。

点訳を依頼されたときは、メンバーがその書籍を手分け(分冊)して入力し、そのデータをパソコンで合体して完成させた完成本のデータを「サピエ図書館」※に送ります。

「ふくしのまち福岡 城南区版」の点訳も担当しており、現在、定期的に城南区内の2人の視覚障がい者にお届けしています。

代表者の濱田美沙子さんは、「読者の喜びの声を聞けることが、会として嬉しい。今後も、仲間と楽しく活動し、また、小中学校での点字体験等に関わり、点字の大切さを伝えていきたい」と話しています。



パソコンで点字を入力するボランティア



ふくしのまち福岡 城南区版の  
読者：梅津茂俊さん

点字を読む(触読)視覚障がい者は少ないですが、私たちは大変助かります。未永く活動していただけることを願っています。

### ※サピエ図書館

視覚障がい者に対して、暮らしに密着した地域・生活情報などを点字等で提供するネットワーク。

点訳の会あい・あい	
活動開始年	2002年
メンバー数	11人
点訳冊数	370冊(年間)
主な点訳の種類	中学生図書(特別支援学校用)